

がん患者・家族・医療者・市民のための最新がん医療フォーラム in 秋葉原



2014年実施報告書

AKIBA Cancer Forum 2014 実行委員会



知って・学べて・集える日本初最大級としての新しい試み

「患者・家族・市民のための AKIBA Cancer Forum2014」では、患者・家族・市民・医療従事者にも有意義な講義や体験型イベントを用意いたしました。その他に、「同時開催：こども大学医学部サマースクール」も開催し、多くの世代にもこのフォーラムイベントを知ってもらおうことも試みました。

体験してもらおうということ

サバイバーにも気兼ねなく参加できるものを

・がんサバイバーのためのヨガ (1) (2) (3)

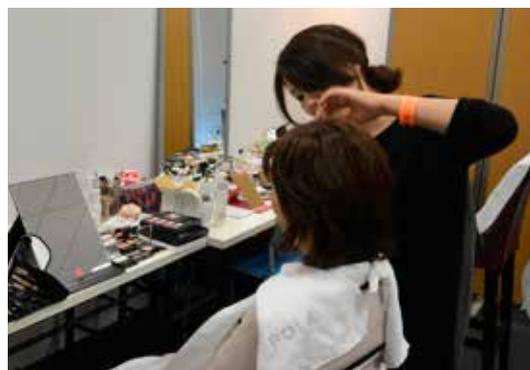
日本は欧米に比べて、がんサバイバーに対する運動の意義が知られておりません。気持ちが沈みがちなときや疲れがとれないときは、ヨガが効果的ともいわれます。当日は講義 (運動の予防効果 / がんサバイバーの運動 * 各エビデンス紹介) とヨガの体験をし、ゆったりと優しい時間をすごしました。



・ヨガ指導者向けレクチャー

ヨガ指導者向けにヨガの全般的なエビデンスについて・がんサバイバーに対するヨガの科学的根拠・がんサバイバーに対する運動療法と指導時の注意など、座学中心の講座を開催しました。

参加者感想～：先生の講義もわかりやすく説明していただきました。がんサバイバーの運動のエビデンスの話もしていただき「これからはがんぼうろ」という気持ちになりました。また、ゆったりとした感じで進めてもらいよかったです。終わった後に体がかかるくなり、久しぶりにリラックスした自分にびっくりでした。



・今日のキレイを明日の希望に！

プラチナメイク & フォトプログラム

がん患者さんを対象にプロのヘアメイクアップアーティストとフォトグラファーによるヘアセット & メイクアップ & 写真撮影をいたしました。当日は初めてのウィッグの試着なども体験し参加者の気持ちが明るくポジティブになっていくのがわかりました。

参加者感想～：勇気をふりしぼってプラチナメイク&フォトプログラムに応募し、当選!参加させて頂きました。今年に入って転移の手術、治療をしています。外に出る事が苦痛になっていました。今日はオシャレをしてウィッグをかぶった時点で楽しくなりました。プロのメイクと写真も始めてでしたが、ほんとうに貴重な体験ができました。ありがとうございました。



子供と一緒に・子供にも体験してもらおうということ

がん診療におけるチャイルドサポートの意義にもなるように

・子供のための「がんの自習コーナー」

子供向けの、がん教育のための本などを閲覧できるコーナーを設置。当日は、がん体験者が子供たちに「がんという病気」についてお話をしたり、わかったこと、思ったことをまとめるためのレポート用紙を設置したりと親子と一緒に体験していただきました。

参加者感想～：子供のうちから知っておくべき情報（自分も知っていたらなあ）と思います。私が20代の頃に父母ともにがんに罹患し、不安に思い、情報を探した経験があるため。



・レモネードスタンド ボランティア体験

展示ブースエリアで「レモネードスタンド」を実施し、当日、夏休みで来場した子供たちにボランティア体験を通じて小児がん啓発運動に参加していただきました。参加者には感謝状を用意し夏休みの課題にと喜んでいただきました。また、当日は小児がん体験者もボランティアで参加し子供たちと一緒にレモネードを配っていただきました。

*レモネードスタンドは、小児がんの支援のために寄付を募る活動です。

参加者感想～：お母さんにいわれて参加してみました。最初は、はずかしかったけど、最後はちゃんと声をかけることができました！しょうじょうありがとうございます！



・とつげき！キッズ記者

～お医者さんにインタビューしてみよう～

小学生を対象としたこども記者体験のイベントを実施。最初に現役の新聞記者に記事の書き方や質問の仕方を教わり、実際に現役のお医者さんに、「なぜお医者さんになったのですか？」「一番よかったことは何ですか？」など、普段聞けないことを質問し記事にしていました。

参加者感想～：しょうらいお医者さんになりたいのもうしこみました。先生が病気をなおして元気になった人を見るのがいちばんうれしいといていたのが印象のにこりました。思っていたより大変そうだなと思ったけど、しょうらいそういう先生になりたいなと思いました。

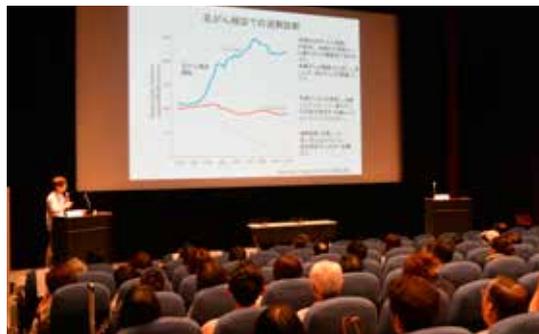


正しい知識をもってもらうということ

がん患者・家族・がん治療に携わる方々に、正しい情報を

・疾患部首別のがんについて学ぶ

脳腫瘍／頭頸部がん／精巣腫瘍／胃がん 外科治療／胃がん 薬物療法／甲状腺がん／皮膚がん／前立腺がん 外科治療／前立腺がん 薬物療法／肺がん 外科治療／肺がん 薬物療法／乳がん 外科治療／乳がん 薬物療法／肉腫／胆道がん／すい臓がん／食道がん／子宮体・頸がん／卵巣がん／大腸がん 外科治療／大腸がん 薬物療法／腎がん／膀胱がん／肝臓がん外科治療／肝臓がん 薬物療法／血液がん



・がん罹患時に多く起こる問題について学ぶ

骨転移／緩和ケア／がんとお金／乳房再建／がんと妊孕性／がんと放射線／がんと遺伝



・今のがんの社会的現状について学ぶ

がん教育の現状と課題／がん治療の真実／がんと数字(統計)／がん情報とインターネット／がん治療の真実／子宮頸がんワクチン／がん検診ホントのこと

参加者感想～:

- ・大腸がんの外科、薬物療法。自身の病について病気、治療など知識を持った。
- ・代替療法(先生のお話がとてもわかりやすかった。)がん治療の真実(大変参考になりました)。
- ・漢方薬のエビデンスが解明され始めているということ(納得して服薬できます)。
- ・卵巣の凍結保存が可能になってきたこと(がんになっても子供を抱きたいという思いは同じ。福音のように感じた)
- ・骨転移:具体的な症例の話が聞いて参考になりました。
- ・がん治療に関する妊孕性。卵巣凍結について初めて知り、大変勉強になりました。
- ・ファイナンシャルプランナーの話が新鮮だった!お金のこと、もう少し調べてみようと思う。
- ・「大腸がん外科治療」はスピーディで動画もあり興味深かった。
- ・肝癌について非常に分かりやすく講義して頂き大変勉強になりました。
- ・漢方の有用性について科学的に知ることができました。
- ・「がんと数字」は幅広い情報をお聞きすることが出来て大変勉強になりました。
- ・膀胱がんの説明はわかりやすくとても理解できた。ありがとうございました。
- ・肉腫～リアルな手術の写真がわかりやすく、現実(7年に渡る経過、CT比較など)も見られた。CT画像とかがたくさんあり、わかりやすい。
- ・すべての先生の解説は大変熱の入ったすばらしいものでした。中でも前立腺がんの先生の講義は特にすばらしいものでした。



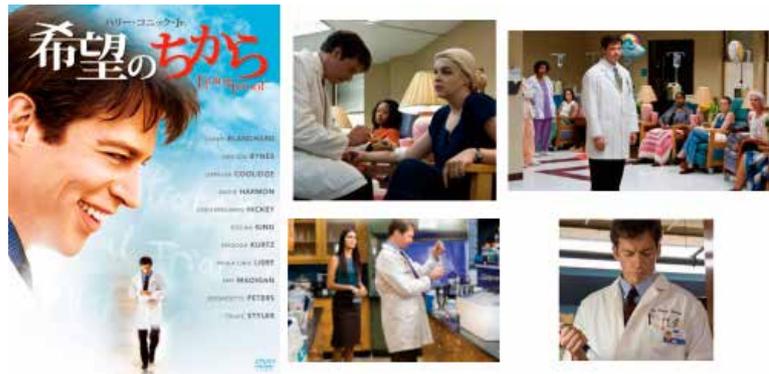
五感で体験してもらおうということ

エンターテイメントで知ってもらう

・希望のちから上映会

乳がんの臨床試験・新薬ができるまでの映画上映と臨床腫瘍科医勝俣先生の映画上映後のトークショウもあり来場者はいつもの映画上映とは違った視点で鑑賞していただきました。

【ストーリー】デニス乳がんの治療にすべてを捧げる医師。彼は乳がん患者とその家族のためにいろいろなものを犠牲にしていた。ある時は家族との団欒を犠牲にし、ある時は治療薬開発の資金を得るために奔走し多くの時間を乳がん治療の研究に時間を費やしていた。その先にある乳がん患者の笑顔のために。



・いのちの落語 - 笑いは最高の抗がん剤

「がんを抱えて笑ってられるか」。でも、がんのつらさを知っている仲間同志なら思いっきり笑えて気持ちがスッキリします。これが「いのちの落語」です。会場で「笑いは最高の抗がん剤」をいのちの落語家・作家でもある樋口 強先生が実感させてくださいました。

参加者感想～：皆様すばらしい先生で良かったです。特に「いのちの落語」は患者ならではの悲しくおかしな落語を聞けてとても良かったです。

「いのちの落語」を拝聴して、笑いが、人への思いやりが生きていく上でどんなに大切か、よくわかりました。演者の人柄がとてもステキでこれからもサバイバーを元気づけてほしいです。



・ Pirates of Tokyo Bay ショー

関東で活躍する唯一のバイリンガル即興コメディグループがたくさんのお笑いをたくさんのお客様にお届けしました。

場内は子供や大人と一緒に笑いトークで盛り上げられました。



2014 年の後援一覧

東京都 / 千代田区 / 一般社団法人日本癌治療学会 / NPO 法人日本臨床腫瘍学会 / NPO 法人日本肺癌学会 / 第 55 回日本肺癌学会学術集会 / 肺がん医療向上委員会 / 公益社団法人日本婦人科腫瘍学会 / NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 / 一般社団法人日本胃癌学会 / 日本頭頸部癌学会 / NPO 法人骨軟部肉腫治療研究会 / 一般社団法人日本血液学会 / 日本皮膚悪性腫瘍学会 / 大腸癌研究会 / NPO 法人日本小児血液・がん学会 / 公益財団法人前立腺研究財団 / 公益社団法人日本放射線腫瘍学会 / 一般社団法人日本がん看護学会 / 公益財団法人日本対がん協会 / NPO 法人日本医療政策機構 / 公益社団法人日本医師会 / 公益社団法人東京都医師会 / 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) / NPO 法人秋葉原観光推進協会 (順不同)

2014 年の賛同協賛企業一覧

- ・アボット ジャパン株式会社
医薬品経腸栄養剤の分野でトップシェアを誇るアボットジャパン栄養剤製品事業部のブースでは、栄養機能食品プロシユアの試飲をしていただきました。
- ・株式会社ジャンパー
バイオイルは、どなたでも使える美容保湿オイル、化粧品です。ブースで 2 回分のサンプルを配布いたしました。
- ・株式会社東京義髪整形
医療用かつらデイリース。必要な時に必要なだけ、1 日単位で 1 日から。ブースでは試着も可能です。
- ・J-TAG 精巣腫瘍患者友の会
J-TAG ブースでは、がんまつわるお金に関する無料相談を京都出町 FP 相談の伊藤先生が対応して頂きました。
- ・ポーラ
プラチナメーク&フォトプログラムにご協力いただきました。
- ・株式会社カミツレ研究所
合成香料、合成着色料、鉱物油、合成保存料などの化学成分は一切使わないカミツレ入浴剤のサンプルを配布いたしました。
- ・昭和薬品化工株式会社
- ・「アंकス」レディースアートネイチャー～医療向けウィッグ～
- ・パルシステム共済生活協同組合連合会
- ・大正富山医薬品株式会社

2014 年の患者会出展一覧

- 1 絵本「春ちゃんは元気です」
- 2 NPO 法人こどものちから
- 3 がんの子どもを守る会 (小児がんと闘う子ども・家族を支援する患者家族の会)
- 4 一般社団法人キャンサーフィットネス
- 5 主治医に言うほどではないけどなんかモヤモヤ～な方、集まりませんか?の会 (メンタル・スパ)
- 6 乳がん体験者の会 KSHS(キッチンと手術・ホッペで再建の会)
- 7 NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー (E-BeC)
- 8 若年性がん患者団体 STAND UP!!
- 9 NPO 法人 GISTERS(GIST(消化管間質腫瘍)・肉腫患者と家族の会)
- 10 メラノーマ患者会「Over The Rainbow」
- 11 公益社団法人日本オストミー協会
- 12 ブーケ (若い女性オストメイトの会)
- 13 NPO 法人オレンジティ (女性特有のがんのセルフヘルプグループ)

メディア掲載

一部掲載

NHK 8/10 おはよう日本で放送
<http://www.nhk.or.jp/ohayou/>

看護師のための Web マガジン かんかん！サイト
<http://igs-kankan.com/article/2014/07/000919/>

Med エッジ「最先端を親切に」、医療と健康の情報サイト <http://www.mededge.jp/spcl/1182>

* 以下掲載内容紹介



最先端の情報を手加減なく

「手加減なし」ということで、権上の医師らは8月に米国で開催された米国臨床腫瘍学会(ASCO)の発表で示された新しい発見に基づいて、患者向けに情報を話したりする。患者は患者で、書店でベストセラーになっている近藤誠氏の著書の中身に熱れたりしながら、医師によっては拒絶反応も出そうな賛否両論分かれる医療の疑問を医療提供側に問う。

いざ病気になる医療の関心は高くなるもの。国立がん研究センターや日本臨床腫瘍学会が無料でがんの情報をインターネット上公開しているが、それらが難しすぎてとっつきにくいといった意見が官報なく出てくる。

医療提供者側から医療の受益者側に対しての情報の窓口は、間接的な手段と直接的な手段に分かれている。

テレビや新聞、雑誌やインターネットを通じた情報は間接的な手段。情報は豊富なのはメリットだが、玉石混交と見られるデメリットもある。直接的な手段は、知りたい情報を絞り込んで聞けるメリットはあるが、現実の場で医療提供者と対等に話す機会がほとんどないのが難点だ。

キャンサーネットジャパンが初めておこなったその「がん学会」は結果としては、これまでほとんど見たことない、医療提供者側と受益者側が対等に話し合える場所になった点がある。

会場では、あらゆる議題の別に、がんの新しい情報を、その分野に長く関わる医師らが直接患者に説明をしていく。7会場の講演を入れて9会場に分けて並行してイベントが進行する。一見、講演数が多すぎると見えて、実際にがんを患う人も含めて、関心ある講演は取られるものだ。無理ない形になっている。

アキバキャンサーフォーラムの講演。がんと医師の関わりについて話す東京大学産婦人科と産科の岡田教授。

この8月、都内開催のある会は医療分野でも珍しい出来事に見えた。医師をはじめ医療提供者と一般人や患者側の受益者側が対等に質疑を交わす。約50講演もの大規模な形は、一般向け情報提供の未来像と見えるかもしれない。

「私はがんの再発をしました。標準治療を行うとなると、選択肢は著しく限られてきます。そうなる「治療法はありませんね」と医師から言われることはある。患者としては科学的な根拠が乏しくとも、新しい治療を試みたいと考える。いったいどうすればいいか？」

語気強く患者は問いかけると、医師はやや回答に窮したようにも見えた。

1コマ50分のコマに延べ3000人

8月9日、がんの発見を手掛けるNPO(特定非営利活動法人)キャンサーネットジャパンが冒頭を取って開催した「アキバ・キャンサー・フォーラム」のため秋葉原を訪れていた。「がん医療情報の発信基地」と掲げ、一般向けにがんの知識を広げようと思ったもの。

興味を引かれたのは、約50コマもの講演である。朝の10時から夜7時までお昼も含めて7会場10分の休みをはさみながら1コマ50分の講演が続く。医師同士の医学会ならばまだしも、一般向けでこれくらいの規模はあまり聞いたことがなかった。

医師らはがん医療に関わる長年、東京大学、国立がん研究センター、順天堂大学、北里大学などから集まっている。春に『「抗がん剤は効かない」の理由』を上梓した日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科部長の唐侯範之氏のような名の知られた医師に限らず、講演はほとんどが演者の状態。

腎がんや肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がんのような頻度の高いがんだけでなく、脾臓がん、胆道がん、肉腫、精巣がん、腎臓がんなど比較的頻度の低いがんまでカバーして外科治療や薬物治療などを説明していく。冒頭の場面のように、後半は多くが質疑に当てられて、患者が遠慮せず、医療提供者に質問を投げかけていく。それぞれの講演が始まる前に、一般からの質問を紙で集めることもあり、質疑は毎コマ、10分から15分ほども続き、質疑は尽きない。

かえて新鮮

医師らの医療提供者側は、一般向けにして難易度は高いくらいの情報も躊躇せず伝える。「世界的に、胃がんの外科治療では、D1のリンパ節摘出(かくせい)ではなくD2のリンパ節摘出を積極的に行っている」「シスプラチンとS1の薬物療法が治療効果が優いと示されている」などである。

「今日はいいことが起きて本当に良かった」

会場の座席で私の座っている席の後ろから、初老の女性と思われる人のつよく声が印象に残った。

提供される情報は難しいように見えて、かえて新鮮に受け入れられている。

全国で医学会が開催されて、伊勢の市民公開講座が一般的に開かれている。一般向けだけに、できるだけやさしく心をかけた、分かりやすい内容になっていることも多い。

都内で目にした医療提供者側と医療受益者側との間の情報交換の光景を目の当たりにすると、かえて「やさしくしないアプローチ」もあるように思える。手加減なく最新の医療情報を惜しげもなく披露する。そんな講演こそが求められているのではないか。

なお、こうした会の告知はなかなか事前に伝わりにくいところもある。科学技術振興機構のサイエンスポータルで、科学啓りではあるが、イベントとして予定がまとまっているのはよく知られている。Medエッジでは意味ある会の開催について随時お伝えしたい。

AKIBA Cancer Forum 2014

趣旨に賛同しご協力いただいた講師の方々



▲上段左から当日登壇していただいた講師の皆様

勝俣 範之先生／藤井 正人先生／山内 英子先生／中山 富雄先生／早川 和重先生／坪井 正博先生／山本 精一郎先生／佐々木 康綱先生

成田 善孝先生／赤倉 功一郎先生／上園 保仁先生／大野 智先生／奥田 慎也先生／黒田 尚子先生／三鍋 俊春先生／金石 圭祐先生

久末 伸一先生／古瀬 純司先生／落合 和徳先生／山口 研成先生／上坊 敏子先生／杉谷 巖先生／川井 章先生／後藤 悌先生

国土 典宏先生／近藤 恒徳先生／佐藤 武郎先生／奥坂 拓志先生／篠田 裕介先生／山崎 直也先生／円谷 彰先生／山内 やよい先生(ヨガ)

菊地 栄次先生／樋口 強先生(いのちの落語)／中村 晃和先生／菊地 盤先生／阿南 里恵先生
他、小島 隆嗣先生にも登壇ご協力いただきました

本当にありがとうございました。